# 中野駅地区整備基本計画について

- 1. はじめに
- 2. 整備の基本方針
- 3. 整備の考え方
- 4. 整備内容
- 5. 整備の進め方
- 6. 第1期整備事業計画

平成22年4月 中野区

# (1)中野駅地区整備基本計画の位置付け

【平成21年10月】

# 中野駅周辺まちづくりグランドデザインver.2

中野駅周辺のまちの将来像 東京の新たな活動拠点としての中野駅周辺

# 中野駅地区整備構想

中野駅周辺のまち・活力を繋ぐ中野駅地区のあり方 中野駅地区整備基本方針等



【平成22年3月】

中野駅地区整備基本計画

÷

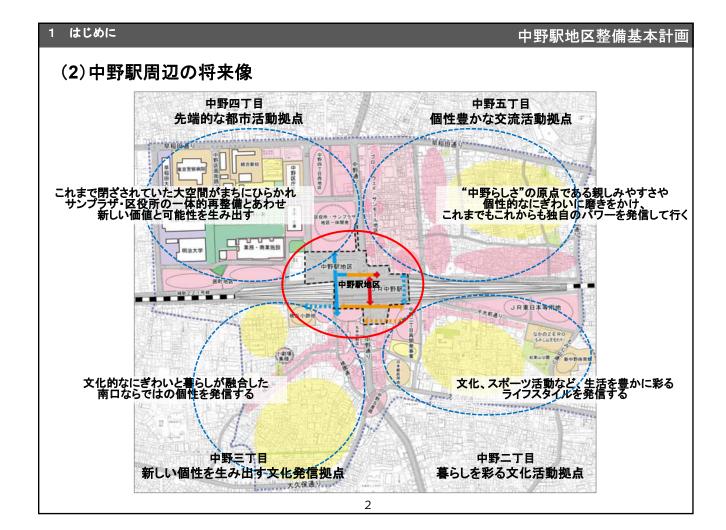
中野駅地区整備事業計画

中野駅地区整備方針・内容・進め方等

第1期整備事業計画

\* 第2期以降の整備事業計画は周辺のまちづくりにあわせ策定

1



中野駅地区 : 駅とまちが融合する魅力的なにぎわい拠点をつくる

- 口交通結節機能の改善: 交通施設の集約、わかりやすさと乗り換えの利便性を向上
- 口回遊性の向上: 周辺と一体となった立体的な歩行者ネットワークの形成
- 口にぎわいの創出 : 駅前広場と商業施設との連携や歩行者広場の確保による、にぎわいの創出
- **口東京の新たな顔にふさわしい景観形成**: 東京の新たな顔としてみどりやうるおいが感じられる場づくり

#### 【整備の前提】

#### 大幅に増加する中野駅前広場利用者

~ 各駅前広場の将来合計利用者は約40万人と想定 ~

# 《現況》

鉄道利用者約16万人+バス利用者・歩行者約6万人 合計約22万人

(現況調査等から推計)

#### 《将来開発による増加》

鉄道利用者約13万人+バス利用者・歩行者約5万人 合計約18万人が増加すると予想

(「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」により推計)

#### 【整備の基本方針】

- 1. 交通機能の集約化、分担の明確化
- 2. 歩行者ネットワークの強化
- 3. ユニバーサルデザインによる計画整備
- 4. 地球環境と景観形成に配慮した計画整備
- 5. 公共交通基盤の強化
- 6. 自動車等駐車場の計画整備

#### 3 整備の考え方

# 中野駅地区整備基本計画

#### (1)駅前広場整備の考え方

# 新北口駅前広場 (北西側) 「新しい中野の顔となる都市型複合交通ターミナルの整備」

- 〇北側の自動車交通処理空間(バス、タクシー、一般車)
- ○自転車駐車場の整備
- ○新改札、南北連絡通路
- 〇一体感のあるオープンスペース、緑地の整備

# 現北口駅前広場(北東側) 「地域の利便性確保と賑わい形成に 資する歩行者主体の広場の創出」

- ○東西連絡路の整備
- 〇歩行者空間の整備



# 中野三丁目駅前広場空間(南西側) 「駅前地域のまちづくりにあわせた 歩行者主体の広場空間確保」

〇歩行者空間の確保

○地域の利便性を確保する交通処理空間の確保 (タクシー、一般車機能)

南口駅前広場(南東側)

「南口の交通ターミナル機能の確保と民間 開発との連携による歩行者空間の強化」

〇中野二丁目再開発と連携した広場空間 ○南側の自動車交通処理空間の整備 (バス、タクシー、一般車)

4

generations.

ファミリーロート



デッキ歩行者動線 将来検討動線

5



# (2)中野駅地区主要動線の考え方

# ② 自転車動線

### 動線処理の考え方

- ・北方面から北口駐輪場へアクセスする際、自 転車と歩行者の交錯を避けるため、将来的には けやき通り北側に駐輪場出入口を確保する。
- ・囲町方面から駐輪場へのアクセス動線は、新 北口駅前広場へ出入りする道路の西側歩道に出 入口を確保する。
- ・歩行者、自転車双方の安全性、快適な移動を 確保するため、自転車走行空間の確保を検討す る。





# 3 整備の考え方

# 中野駅地区整備基本計画

# (2)中野駅地区主要動線の考え方

# ③ タクシー・一般車動線

### 動線処理の考え方

・新北口駅前広場にアクセスするタクシー、一般車に ついては、けやき通りを主体とする動線処理を想 定する。



八 例タクシー動線 ←→ 一般者動線タクシー補助動線 ←--- ー般者補助動線

3 整備の考え方

# 中野駅地区整備基本計画

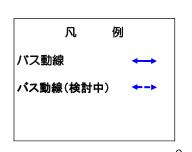
大久

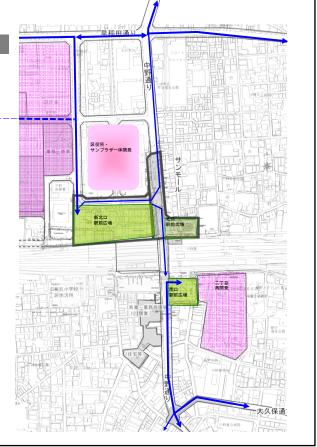
# (2)中野駅地区主要動線の考え方

# ④ バス動線

### 動線処理の考え方

- ・北側へ向かうバスは新北口駅前広場に、南側に 向かうバスは南口駅前広場に配置することを 基本とする。
- ・北側の路線バスは新北口駅前広場が起終点となるため、中野通りにバス停を有する路線を除き原則中野通りの交通負荷を軽減するためけやき通りを主体とする動線処理を行う。





# (3)駐車場等整備の考え方

#### ①中野駅周辺の自動車等駐車場整備の前提

#### 〇中野区都市計画マスタープランでの位置づけ

・中野区都市計画マスタープランでは、中野区の交通体系について「公共交通機関の充実、 自転車利用等の推進、環境負荷の少ない交通ネットワークの形成」を目指している

#### 〇中野駅周辺における駐車場の現状

- ・現在、新北口駅前広場には中野区駐車場があり、中野駅周辺の駐車需要を担っている
- ・中野駅周辺における駐車需要は、それに応じた駐車台数が確保されており 駐車場不足による大きな問題は生じていない

#### 〇駐車場の都市計画

・新北口駅前広場の地下には、駐車場の都市計画が位置づけられている

9

#### 3 整備の考え方

中野駅地区整備基本計画

# (3)駐車場等整備の考え方

#### ②自動車駐車場整備の考え方

### 〇公民の適切な役割分担

・駐車場の整備にあたっては、将来の駐車場の需給バランスに配慮するとともに 適切な公民の役割分担のもとに整備する

# 〇開発者による駐車場整備のルール化

・今後、進展する都市開発による駐車需要の増加に対しては、中野駅を中心とした 商業地などに駐車場整備地区の都市計画決定を行うなど、都市開発における適切な 規模の駐車場を確保する

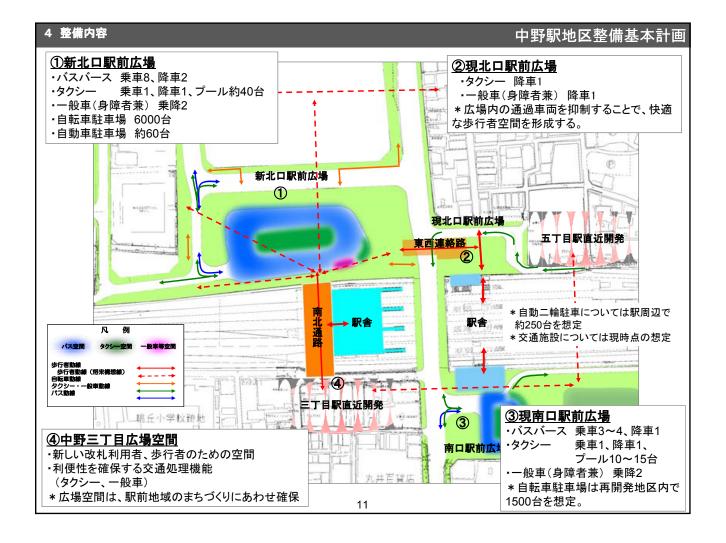
### 〇二一ズに応じた適切な駐車場の配置

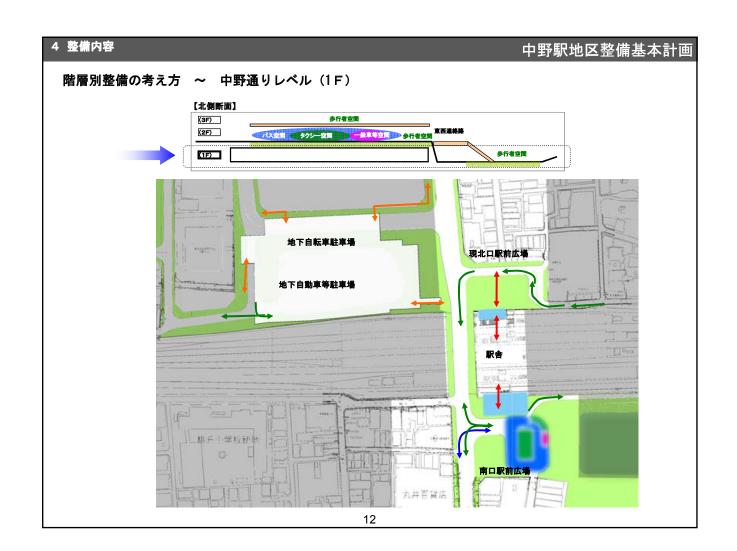
・中野駅の交通結節機能や来訪者、駅利用者、移動制約者にも配慮して、それぞれの ニーズに応じた適切な位置に駐車場を整備する

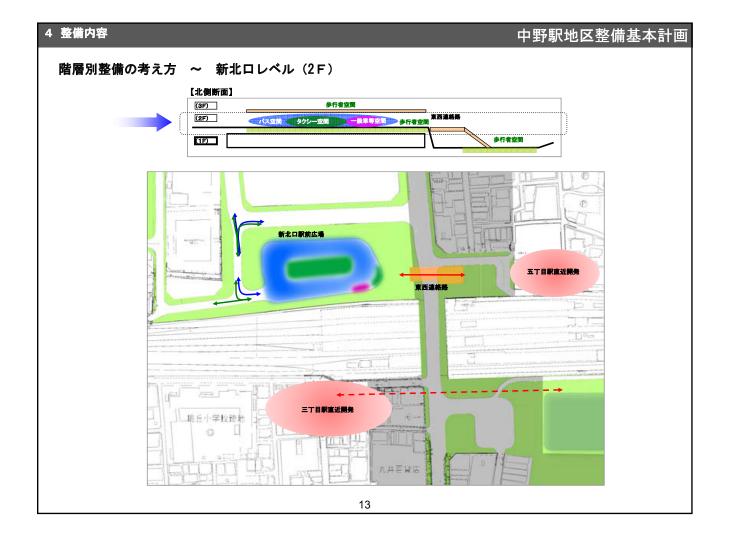
#### ③自転車等駐車場整備の考え方

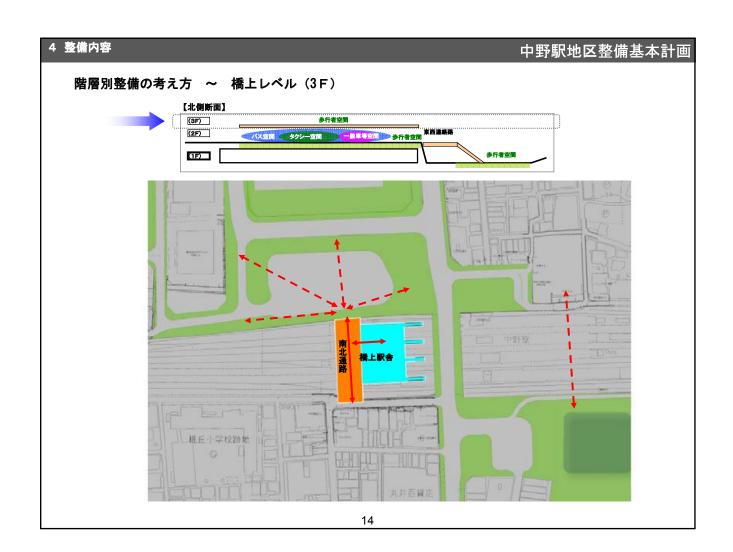
# 〇適切な自転車駐車場等整備

・自転車駐車場や自動二輪等駐車場については、現況利用者数を十分把握し 今後の周辺開発による増加に対して必要な台数の確保と、利用者の利便性にも 配慮した適切な位置に配置する





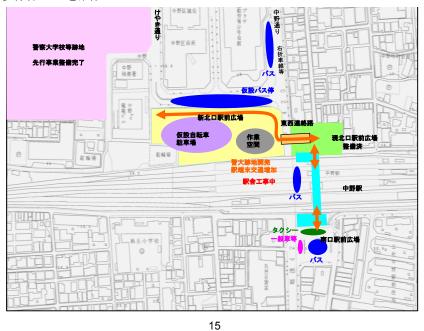




#### (1)第1期整備(H24年春完了予定)

### 警察大学校等跡地の先行事業(公園・道路、業務施設等)完了に伴い、中野駅利用者が大幅に増加

- ・現北口のバス乗降所は中野サンプラザ南側へ仮設バス停を整備し移設
- ・現北口駅前広場は歩行者中心の広場とし、あわせて北口改札を駅前広場側へ向け移設・改修
- ・新北口駅前広場内の駐車場、駐輪場については移設整備し、バス回転広場、関連工事の作業空間、警大跡地開発 方面への歩行者ルートを確保



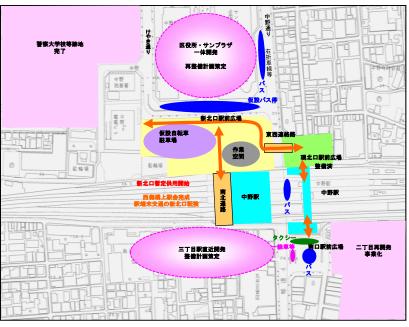
#### 5 整備の進め方

中野駅地区整備基本計画

#### (2)第2期整備(H27年頃完了予定)

警察大学校等跡地の開発が完了、区役所・サンプラザの再整備や中野三丁目駅直近の計画も策定され 駅直近の具体的な内容が深度化

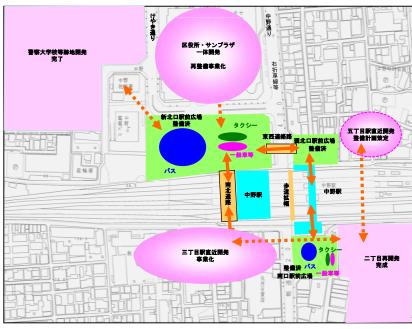
- ・西側南北通路・橋上駅舎及び一部新北口駅前広場整備を実施、駅開設に合わせ、新北口駅前広場の暫定供用開始
- ・南北通路と中野三丁目との接続整備



# (3)第3期整備(H30年以降完了予定)

# 中野二丁目再開発事業が完成し、区役所・サンプラザの一体再整備、中野三丁目の駅直近地区も事業着手

- ・新北口駅前広場が完成し、バス、タクシー、自転車駐車場など交通結節機能が集約されている。 ・中野駅ガード下の中野通り東側の歩道拡幅





#### 6 第1期整備事業計画 中野駅地区整備基本計画 (2)第1期整備のスケジュール H24年春までの第1期整備スケジュールは以下の通り 22年度 23年度 年度 21年度 24年度以降 ●10月:整備構想策定 中野駅地区整備計画 ●3月:整備基本計画策定(予定) 整等 都市計画変更手続き (22 年秋以降諮問予定) 都市計画変更 ①仮設自転車駐車場等 仮設 政施設等 ②中野通り右折車線等整備 第1期整備事業 ③仮設バス停 施 I 基本計画 調查設計 ④現北口広場(整備) 基本設計 関係者調整 ⑤現北口改札口(改修) 実施設計 П 警大跡地先行事業完了 ⑥東西連絡路 (整備) ⑦歩行者通路等

19